§2 市政・区政への参画

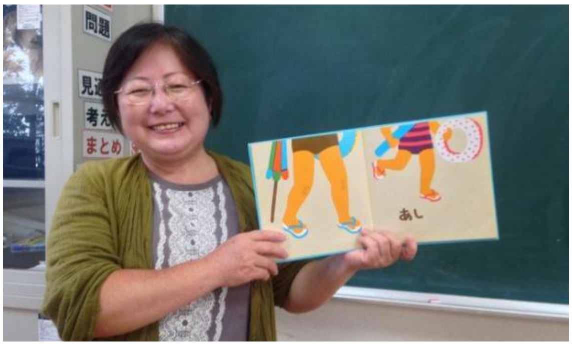
このコーナーでは、区民のみなさんに市政・区政へ参画していただいている取組を紹介します。

1．三津屋小学校読み聞かせボランティア「おはなしわくわく」

私たち読み聞かせボランティア「おはなしわくわく」は三津屋小学校において 11 年前から絵本の読み聞かせ活動を行っています。

「本の世界を少しでも多くの子どもたちに開いてほしい」という思いをもって、PTA・地域のボランティアから成る約 30 名のメンバーが、月に 3 回小学校での読み聞かせと入学式での読み聞かせの他に、秋の絵本展を行っています。

この活動の一番の醍醐味は親子で一緒に



成長できること。読み聞かせを始めたことで色々な本や紙芝居に出会うことができて良かった！というお母さんも沢山います。

そして、普段から地域の子どもたちと接することでお互いに顔を知ることができるのもこの活動のメリット。多くの人が子どもたちに関わることで、みんなで地域の子どもを見守ることにつながります。

「おはなしわくわく」では私たちと一緒に活動してくださる方を募集しています。ボランティアを難しく考えないで、一度気軽に私たちの活動を覗きにきてくださいね。

【問合せ：4 階 41 番　市民協働課　☎6308-9415】

2．第 1 回「福祉バス廃止に伴う今後のあり方検討会」を開催!!

赤バス廃止に伴う激変緩和措置として平成 26 年度にスタートした「淀川区福祉バス『夢ちゃん号』」は、今年 9 月末で運行を終了します。道路運送法の適用を受けない例外的形態であるため、近畿運輸局から継続の見直しを指導されていること、また、貸切バス運賃・料金体系の見直しによる大幅な経費増が主な理由です。

そこで、7 月 9 日に第 1 回「淀川区福祉バス廃止に伴う今後のあり方検討会」を開催し、福祉バスが走っている 7 地域（新高・木川南・木川・十三・野中・三津屋・加島）の代表者と、学識経験者として近畿大学の毛海准教授に委員にご就任いただき、今後の方向性について議論を行いました。

今回は第 1 回目ということで、まず区役所から、福祉バスの経過と現状について説明

し、続いて毛海委員から、法的位置付けや一般的な代替策、検討するにあたって注意すべき点などについて解説を行いました。

意見交換では、委員の皆様から「交通空白地域や病院など、本当にニーズのあるところに絞って対策を」「次年度の予算措置の可能性はあるのか」「無料ではなく受益者負担を」等、貴重なご意見を多数いただきました。

9 月末までに全 4 回程度開催し、議論を深めていく予定です。

【問合せ：5 階 51 番　政策企画課　☎6308-9405】